

# 東日本橋研究所を開設

～王子研究室を移転、アルビオン独自の施設として～

>>>2013.05.28

株式会社アルビオン(東京・中央区、代表取締役社長:小林章一)は、東京都中央区東日本橋に王子研究室(東京・北区)を移転し「アルビオン東日本橋研究所」として新たに開設いたしましたのでお知らせいたします。

アルビオンではこれまで、グループ企業のコーセー内に「アルビオン王子研究室」を設け、研究・開発を行なっておりました。2004年ごろから人員の拡充を含めたアルビオンの研究開発体制の整備・構築を進めており、このたびアルビオン独自の研究施設として王子研究室を移転するかたちで「アルビオン東日本橋研究所」を開設。2013年4月1日より稼動を開始いたしました。「白金研究室」「白神研究所」と合わせた3つの研究体制で、より充実した研究・開発を行なってまいります。

## 【設立意図】 本社の一員としての研究所

本研究所が目指したのは「本社機能を持たせた研究所」です。本社のある中央区銀座とも近距離にあり、有用な情報をいち早くキャッチしてどこよりも早く商品に生かすことを目指しています。同ビルには一部の営業部署も入っているため、研究部門として独立するのではなく販売の現場の声を生かしたものづくりを行なえるよう、本社の一員として活動できる環境・立地にこだわりました。ビル内には営業部門の社員とコミュニケーションがはかれる共有スペースも設け、これまでにない新しい環境下で研究を行なっていきます。

## 【特徴】 フレキシブルな業務の推進

実験室の実験台は、動線をあえて複雑に配置することで研究員同士の接点を増やし、偶発的コミュニケーションが生まれる環境をつくっています。多くの研究員の意見や提案を交えて、独自性あふれるものづくりに生かすことが目的です。事務フロアは自分の席を持たない「フリーアドレス」を導入。デスクの配置も業務に合わせて自由に移動することができます。各フロアにはWi-fiを完備し、研究員は館内PHSを携帯することで、どの場所でもスムーズな業務が可能。また所内ではペーパーレス化を推進し、環境への配慮はもちろん、情報が分散することのないよう徹底した情報管理を行なっています。

**【研究体制】各所の役割**

## ●東日本橋研究所

マーケティング調査や店頭の要望などからの商品企画アイデアを、実際に商品化するための処方の開発を行なっています。

## ●白金研究室（東京都港区／2007年開設）

化粧品の美容効果の効果検証、美容機器の研究開発などを行なっています。

## ●白神研究所（秋田県藤里町／2010年開設）

世界遺産「白神山地」のふもとに約9500㎡の畑を所有し、化粧品原料となる植物を委託栽培することで、植物に特化した原料開発・基礎研究などを行なっています。

**【東日本橋研究所 概要】**

名称：アルビオン東日本橋研究所

住所：東京都中央区東日本橋2-24-11 アルビオン東日本橋ビル4～7階

開所日：2013年4月1日

在籍員数：研究部 製品研究グループ 26名

